

第3回枚方市新庁舎整備基本構想意見聴取会での主な意見と市の回答

【7月20日 吉川委員】

No	主な意見	市の回答
1	国（税務署）との運営方法によっては、エントランスや待合スペースなどが共有できるのか、それぞれが単独で確保するのかによって面積も左右するので調整が必要。	本市としては、国との合築を検討していく場合、例えば、エントランス・ロビーや多目的スペースなどの共同利用していく機能の検討を行い、面積や整備費の縮減につなげていく考え。
2	多目的スペースは、常時・非常時の用途以外にも、年間通して用途の時期が重なることも視野に入れた整備とすること。諸室に専門性を持たせるほど他への転用が難しくなる。	多目的スペースの具体化に際しては、定期的に使用する用途をあらかじめ想定し、使用時期の重複や不都合が生じないように柔軟な対応ができる運営を想定し、施設の仕様の具体化を目指していく考え。
3	執務室は、市民応対を中心の部署と内部事務が中心の部署では、市民へ提供するサービスの内容が異なるので、配置フロアやレイアウトには留意すべき。	市民利用を中心とした手続き関連部署、内部系部署、事業者が来庁する部署など、来庁目的別に応じた部署間の関連を踏まえたうえで、来庁者の移動を円滑にする最適な窓口配置やレイアウトを検討していく。
4	庁舎位置は⑤街区での庁舎が望ましい。駅近くの資産価値の高いエリアに効果的にみどりを配置しながら商業・業務・居住施設を配置して誘導を行うことが都市環境や都市空間の考え方に合致している。	庁舎位置については、ご意見を参考に枚方市駅周辺再整備基本計画の中で、まちづくりの観点から検討していく。
5	新しい道路がまちを分断して回遊性が失われる懸念があるので、公園・商業施設と住居エリアとの一体性が重要となる。歩行レベルの連続性を実現することで、よりまちの魅力が高まると考える。	民間活力の導入により、商業施設や居住施設の整備とあわせて、まちの賑わいにつながる公園・広場を中心とした、一体的なまちづくりを実現させるためにも、区画道路により、まちの分断を感じさせないように歩行者が快適に回遊できるような歩行空間を検討していく。

【7月20日 池内委員】

No	主な意見	市の回答
1	市民利用を想定した多目的スペース以外にも、内装はシンプルでもよいので、職員が多目的に使用できるスペースを設けておくが良い。また、防災面からもできる限り大きな空間の会議室を設け、パーティションで分割できるようにするのが良い。	職員が利用する会議室については、将来の臨時組織の執務や災害対応など様々な利用目的も想定して可変性を持たせる仕様を検討する考え。
2	窓口の待合には、携帯電話等による呼び出しシステムの実施や予約制の導入により、待合の省スペース化や待合時間中に他所（情報スペースや多目的スペース、屋外など）で時間を有効利用できる。	申請や相談の多い窓口部署の待合スペースの充実や総合窓口の検討とあわせて、待ち時間の短縮や有効利用につながるようICTの活用などの手法を検討する。あわせて、一度の来庁における複数窓口での申請に伴う時間短縮を図るための関係部署のスムーズな連携体制の構築を継続的に努めていく。
3	災害対応の視点では、保健所とひらかた病院が連携することはメリットがあるが、一方で庁舎・保健所が分散するのは連携上の問題があるので、運用面での対応を検討する必要がある。	災害時の医療対策については、迅速な対応が図れるようICTの活用などにより運用面での対応に取り組む考え。
4	災害を想定した場合、⑤街区までのデッキや各施設と連携して、多機能トイレなどの市民利用機能を分散配置することを検討してはどうか。災害対策的にも庁舎は駅から少し離れた配置して滞留スペースを設けることが有機的であり、まち全体で帰宅困難者の受け入れを想定しておくこと。	帰宅困難者の受け入れについては、ご意見を参考に枚方市駅周辺再整備基本計画の中で充実に向けた検討を行なう考え。
5	新庁舎の低層階にはコンビニを設け、災害時の流通備蓄とすることを防災計画で位置付けるのが良い。	庁舎に設ける予定のコンビニについては、民間の活力を最大限に活かし、災害時の対応も可能になる方向で検討する考え。
6	庁舎位置は⑤街区とし、④街区では文化度が高い機能を集積した方がよいのではないかと。例えば図書館や子育ての拠点、さらには、福祉・高齢者サービスなど、高齢化を想定したサービスが必要ではないか。一方③街区では、非日常的な賑わいや動きのある施設が想定される。	高齢化を想定したサービスについては、誰もが安全・安心・健康に暮らせるためにも、市民生活に必要な機能が揃った利便性の高いまちを目指すとともに、広場や公園を活用したゆとり空間や健康活動空間などの充実を図る考え。
7	④街区のレジデンスには、高齢者が入居する可能性が高い、子育て世代でも共働き世帯になる。低層階に子育て施設を設けても共働き時期は良いが、入居者の入れ替えが無ければ10年後には不要施設となる。	④街区に導入する機能については、まち全体に好影響が期待できるものを取り入れていく考えであるが、将来的な民間事業者の事業採算性や社会的な要請なども踏まえて、持続的にまちが発展できるエリアマネジメントを構築する考え。

【7月20日 池内委員】

No	主な意見	市の回答
8	南側ロータリーの真ん中に緑化空間を設けることで岡東中央公園までの連続性ができる。	市駅から庁舎までの歩行空間の確保とあわせて、みどりの連続性を意識したまちづくりを目指していく。

【7月20日 石川委員】

No	主な意見	市の回答
1	庁舎機能の集約と駅前との機能分担の考えは理解できるが、枚方市の地の利を活かして、歩行空間、回遊性のコーディネートが必要。そのためにも歩行者と車との分離による安全性を確保した歩行空間が必要。車に依存しないまちづくりを枚方市が先駆的に目指すべき。	庁舎周辺の環境整備や歩行空間については、枚方市駅周辺再整備基本計画と連携して検討する。
2	窓口の集約化による行政サービスの向上を実現するには、利用者の移動動線を明確にする必要がある。	総合窓口の検討とあわせて利用目的に応じた受付窓口について、誰にでもわかりやすいサイン計画の作成や情報案内板の提供に向けて検討する。
3	障害を持たれている職員にも配慮した、働きやすい環境を実現するために面積を確保する必要がある。例えばオフィスにゆとりを持たせることも必要ではないか。	執務室にはユニバーサルレイアウトを前提に、職員一人ひとりが快適に感じられるよう、机の配置や通路など多様性を持たせたレイアウトの工夫を検討していく。
4	庁舎の位置については土地利用的にも⑤街区として、あらゆる機能を駅前に集約するのではなく、④街区では、みどりを活用した土地利用を中心に、駅に降りた時の開放感や快適性を大切にすべき。近年は駅前集約型のまちづくりが主流であるが、枚方市では、健康をテーマに歩けるまちとしてゆとりを持たせたまちづくりを進めることを検討してはどうか。そうした際に新しい道路で、まちが分断されるように見えるので工夫が必要と思う。	庁舎位置については、ご意見を参考に枚方市駅周辺再整備基本計画の中で、まちづくりの観点から検討していく。
5	広場の運営に民間活力を導入して、エリアマネジメントを行うってもらうことは重要。行政は土台作りを行い、事業者や市民がまちをマネジメントすることにより、駅前の魅力が高まる。他の地域との差別化により、まちの価値を高める仕掛けが重要。	枚方市駅周辺再整備に係るエリアマネジメントについては、ご意見を参考に枚方市駅周辺再整備基本計画の中で検討していく。

【7月25日 武委員】

No	主な意見	市の回答
1	書庫の効果的・効率的な整備については、庁舎内外に書庫を確保するといったハード的な対策だけではなく、管理体制やシステムの抜本的な見直し、職員の意識改革もあわせて検討すべき。	既存施設の有効活用等による書庫スペースの確保とあわせて、文書管理の徹底・文書量の見直しにより保管状況や保管量の適正化に努めることで、庁舎規模の適正化につなげていく。
2	新庁舎では災害対策にかかる機能を強化していくこととしているが、今回の震災の経験を新庁舎整備における機能や必要な対策に活かすこと。	今後、防災拠点機能の強化に向けた具体的な検討を進めていく中で、大阪府北部地震での経験も踏まえ、災害発生時において速やかな対応が取れるよう危機管理体制の強化を目指す考え。
3	⑤街区に新庁舎を整備する場合、現本庁舎の駐車場台数を増加することは良い考えであり、その際、市庁舎の利用者に限定するのではなく、市駅中心部への車の流入を軽減するためにも集約駐車場として、24時間365日利用できることを想定した運用を検討する必要がある。	来庁舎駐車場については、基本的に来庁舎の利用を想定しているが、市駅中心部への車の流入の軽減といった考え方や枚方市駅周辺再整備の検討内容等も踏まえて、運用を検討する考え。
4	⑤街区の庁舎位置が市駅からの距離が少し離れるため、雨天や高温日は高齢者などには負担が生じることも予測されるので、駅から庁舎までの間に休憩できるスペースなど快適な歩行空間の整備をまちづくりと連携して検討すべき。	新庁舎までの歩行空間については、枚方市駅周辺再整備基本計画と連携して一体的なまちづくりに努める。
5	現在分散している行政機能の集約は、市民の利便性の点から望ましい形ではあるが、一方で、公共施設のマネジメントの観点から既存施設の有効活用や危機管理面からは、災害時には対応が市内全域に及ぶため、迅速に現場対応できる機能分散の考えも必要となるため、集約については慎重に検討する必要がある。	分散している庁舎機能を必要に応じて集約することで、効果的・効率的な行政運営を進めるとともに、あわせて災害時の迅速な対応が取れるような災害対策の充実を図る。

No	主な意見	市の回答
1	<p>高齢者や障害者などが多数利用される窓口への案内や誘導をよりスムーズに行えるよう、手続きの状況や目的の行き先が一目でわかる電光掲示板をロビーに設置するとともに、窓口フロアは、目的別に色彩を使用することで利用者を直感的に誘導できる空間づくりを行うべき。また、窓口は一例配置を基本とする方がわかりやすい。</p>	<p>今後、具体化を進めていく中で、ご意見を参考に市民の利便性などを高めることができるようなロビーや窓口の空間づくりについて検討していく考え。</p>
2	<p>現状の利用状況を踏まえ、④街区にはイベントを中心とした多様な交流を生み出す空間とし、⑤街区での新庁舎の前広場で若者がスケートボード等をする恐れもあるので、極力シンプルな広場にして荘厳な空間とするべき。多目的スペースでは、各種団体が自主活動に供することを目的とするのではなく、市の行事や事業、市民手続きなどのための利用とし、運用ルールを明確にすべき。また、現在の庁舎では、イベントなどのポスターやチラシの掲示が無造作に掲げられているが、新庁舎では、すっきりとした空間を基本とし、掲示方法や場所は制限するべき。</p>	<p>④街区と⑤街区の広場の整備内容や活用については、ご意見を参考に枚方市駅周辺再整備基本計画の検討や、その後、具体化の検討を進めていく。 多目的スペースについては、市による臨時窓口、啓発活動、情報発信や災害時の活用など様々な観点から、運用方法を検討していく。また、誰にでもわかりやすい情報案内板の提供に向けて検討していく。</p>
3	<p>今回の震災では、災害対策本部で決定した最新の情報が各避難所へ伝達されていないことを改善すべきである。その上で、新庁舎では災害対策本部室を設け、避難所と双方向で情報共有できる設備を導入すべき。新庁舎は防災拠点として物資の受入れと統制機能に特化すること。また、今回の震災で開設できなかった福祉避難所の機能を発揮するためには、庁内の部署の連携強化や避難所の運用ルールの見直しも必要となる。</p>	<p>大阪府北部地震での経験も踏まえ、防災機能の拡充や避難所との迅速な情報共有を可能とするために必要な検討を行い、災害発生時において速やかな対応と対策が取れる防災拠点としての整備や危機管理体制の強化を図る考え。また、地域防災計画に基づき、災害対策本部機能を発揮できるよう新庁舎を整備する考え。</p>
4	<p>コンビニ設置に伴う飲食については、内包的に庁舎内での飲食を促進することを想定するものではなく、施設前広場のベンチや緑のゾーンなどのくつろげる空間との一体的な利用を前提にしていくべき。</p>	<p>飲食コーナーを設けたコンビニエンスストアなどの民間附帯機能については、庁舎内での飲食による利用や庁舎前の広場空間との一体的な利用等を含めて、当該機能の考え方を整理し、今後、具体化の検討を進めていく考え。</p>
5	<p>⑤街区に新庁舎を提供する場合、これまで以上に車利用者が増加すると考えられる。駐車場126台では、入庫待ちによる新庁舎周辺の路上駐車などが、これまで以上の影響が予測できるため計画台数を増加すべき。なお、増加台数の検討には他市を参考とするべき。</p>	<p>駐車場の計画台数について、新庁舎整備後の車利用者の増加や入庫待ちによる路上停車等の影響を考慮しながら、来庁舎用駐車場の計画台数を見直す。</p>
6	<p>⑤街区の庁舎配置は、駅からの視認性が確保できる位置に構えるとともに、市駅から新庁舎まで至るアプローチは、歩きながらほっとできる雰囲気を生み出すための歩行空間を整備するべき。</p>	<p>庁舎位置については、ご意見を参考に枚方市駅周辺再整備基本計画の中で、まちづくりの観点から検討していく。また、市駅から新庁舎まで至るアプローチについては、枚方市駅周辺再整備基本計画と連携して一体的なまちづくりに努める。</p>
7	<p>新庁舎では、市民の利便性の向上を最大目的として計画することが重要。将来の人口減少を見据えて、できる限りスリムな庁舎とするべき。市民が日常訪れることが少ない教育委員会は集約の対象に含める必要はない。行政間の打合せや連絡には、新庁舎に導入するICTを最大限活用して、輝きプラザきららとの連携強化を実現するなど先駆的な考えを取り入れるべき。</p>	<p>既存施設の活用やICT基盤の充実等を行うことで、規模の適正化を図っていく考え。</p>
8	<p>庁舎や施設前広場は北側に面していることから、施設配置を考慮した自然光を取り入れて明るい印象を与えられる工夫をすること。また、枚方市のシンボルの「柳・菊・桜・カワセミ」をあしらった採光ガラスなどを使用することで、ロビーに入った瞬間に「枚方らしさ」を感じることができる。</p>	<p>今後、具体化を進めていく中で、ご意見を参考に市民の利便性や職員の快適性を高め、また、枚方市特有の良さを感じられる庁舎とするため、配置計画を含めて検討する考え。</p>